



穴水城



穴水港から見た穴水城。大手は左端の穴水町役場側

所在地：石川県鳳珠郡穴水町川島

別称：白波城

立地：丘陵先端、標高65m

城主：長氏、長沢筑前守光国・白小田善兵衛（上杉謙信家臣）、前田利家

時期：南北朝、室町、戦国

見学時間（参考）：城址公園駐車場 10分～30分
七曲りから往復 約40分

穴水港を望む丘陵の通称前城山、後城山の尾根に郭が配置される能登の国人、長氏代々の居城。城址公園駐車場に第34代当主長昭連氏揮毫の城址碑が建つ。



穴水町役場裏の七曲り口

「長家家譜」によると貞治元年（1362）長氏8代正連が荒屋城から穴水城に居城を移し、21代連龍まで約二百年余長氏代々の居城であった。

天正4年（1576）11月、能登に進攻した上杉謙信が攻め落とし、守将として長沢光国らを置いた。天正6年3月に謙信が死去すると、8月長連龍は越前三国湊から富来に上陸し穴水城奪還に成功するが、11月頃上杉軍の反撃に耐えきれず神保氏の越中守山城に身を寄せ、同8年4月頃に再度奪還した。

天正9年（1581）織田方の前田利家に能登一国が与えられると、連龍には鹿島半郡が与えられ穴水城から田鶴浜館に居城を移した。翌10年利家が穴水城普請を指示した書状が最後の古記録になる。

城跡は穴水城址公園として整備され、伝本丸、伝二の丸、伝三の丸に桜が植えられ、伝二の丸からは周辺を一望できる。伝本丸直下まで山麓から舗装道路が通じているので訪ねやすい。



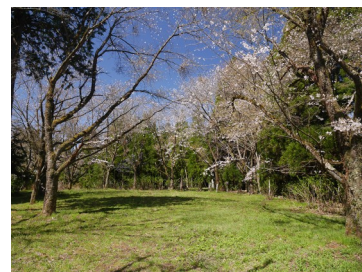
長氏の祖、長谷部信連を祀る山麓の長谷部神社



伝二の丸から穴水港を望む



城址公園駐車場の登城口



伝本丸（主郭）

いしかわ城郭カードに関する最新情報・お問い合わせ
北陸城郭プロジェクト（フリー・スタイル有限会社）
〒929-0335 石川県河北郡津幡町井上の荘3-9
TEL. 076-204-6046 FAX. 076-289-3943
E-MAIL. contact@j-sampo.com
ホームページ城郭さんぽ <https://www.j-sampo.com/>